

科目名	法医学Ⅱ	担当者	奥田 貴久	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
				授業時間数	90分×15回		必修選択	法律 公共政策	

【関連するDP・CP】 (DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施に関する方針)	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
	○	○						

【授業の概要】
法医学は、法学の分野に医学の知識と原則を適用し、問題解決の一助となることで社会的使命と責任を果たすことを目的としています。特に死因究明は法医学の主要業務であり、死因を決定するために法医学解剖を通じたエビデンスの収集を行います。また、薬毒物やアルコール、生命倫理、医療安全、DNA鑑定なども法医学に関連した領域です。法に関連する医学的諸問題を解決するための基本的な事柄を学生諸君に医学的知識がないことを前提にわかりやすく解説します。

【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)
【授業目的】法医学が医学に属し自然科学を基礎としていることを理解し、社会における様々な事件事故に法医学が果たしている役割を理解することを目的とする。
【到達目標】法医学の基本的事項を習得し、回答できる。法医学の各事例についてそれぞれ問題点を指摘できる。
関連DP及びCP：法律学科1, 2 公共政策学科1, 3, 4

【履修条件】
講義内容は他言しない。SNS等で講義内容を拡散させることは厳禁。講義で用いる写真や動画等の撮影は禁止。解剖の写真にはモザイクをかける。人体の構造と機能については自習をお願いしたい。

【授業方法】
授業後の確認テストに回答することで出席とする。希望者には法医学解剖の見学機会を設ける。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無	有
アクティブ・ラーニングの形態	提示された事例について、死因と死因の種類について回答する。

【到達目標】(Specific Behavioral Objectives: SBOs 個別行動目標)

ルーブリック評価項目の内容	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	論理的・批判的思考力	問題発見・解決力	挑戦力	コミュニケーション力	リーダーシップ・協働力	省察力
	達成されるべき具体的行動				関連するルーブリック評価項目の達成レベル			
	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
①	法医学とは何か、死因、死因の種類について説明できる。	1	1					
②	死の判定、心臓死、脳死、臓器移植法について説明できる。	1	1					
③	種々の内因死、外因死について成因や受傷機転を理解し、説明できる。	1	1					
④	交通事故関連法規や交通事故の現状、交通外傷について説明できる。	1	1					
⑤	わが国の死因究明について、実務面と法的側面から説明できる。	1	1					
⑥	違法薬物に関連する法律、薬物依存について説明できる。	1	1					
⑦	硫化水素、フグ毒、ヒ素など稀な毒物による死について説明できる。	1	1					
⑧	代表的医療事故について説明できる。	1	1					
⑨	飲酒がもたらす社会問題について、依存や健康被害の観点から説明できる。	1	1					
⑩	死亡時画像診断について説明できる。	1	1					

【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の比率(%)
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
試験(定期試験/授業内試験)	期末試験を実施する。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
小テスト等	授業毎に確認テストを実施する。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
レポート等												
討論・発表等												
授業への参画度												
その他()												
その他()												
その他()												
到達目標別の比率(%)		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100

【課題に対するフィードバックの方法】
最終回に解説を行う。

【教科書・参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
備考	使用しない				

【オフィスアワー】
月曜～金曜 9:00～17:00 メールにて連絡 (okuda.takahisa@nihon-u.ac.jp)

【実務経験を活かした実践的教育について】	
担当教員の実務経験の有無	有
実務経験に基づく実践的教育の内容	実務経験の内容 法医解剖100件/年、臨床医としての20年以上の診療経験、メリーランド州での解剖実務経験、動物を用いた研究10年以上 国内外の法医解剖はもちろんのこと、アルコール医学やDNAの基礎研究も行っています。臨床医としての病院勤務経験や専門医資格も有しますので、学生諸君が社会に出てから法学の専門家として必要となる医学的事柄をわかりやすく指導します。

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	交通死亡事故	交通関連法規、交通事故の現状、交通外傷の法医鑑定事例について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
2	脳死と臓器移植法	生命徴候、心臓死、脳死、臓器移植法などについて、医療倫理の側面と実務面から考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
3	死因究明と法律	死体検案と異状死体について、異状死体の届け出義務について、死因究明等推進基本法についてなど、わが国の死因究明の在り方を考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
4	異常環境による死	焼死・CO中毒・広範囲熱傷・凍死などの成因や鑑定事例について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
5	法中毒①	覚せい剤、大麻などの違法薬物、向精神薬・眠剤などの処方薬の大量摂取に関連する事故・中毒・自殺の鑑定事例について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
6	法中毒②	硫化水素・青酸・ヒ素・フグ毒など稀な毒物による事件・事故、沖縄トリカブト事件について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
7	法医学とインテリジェンス	法医学に関連するインテリジェンスやメディアリテラシーについて（ゲストスピーカー：日本大学医学部社会医学系法医学分野客員研究員 山田敏弘）	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
8	医療安全のしくみ	代表的医療事故を振り返り、医療事故を防止するための医療安全の仕組みについて考察する。法的問題にも触れる。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
9	薬害	繰り返される薬害について法的問題を考える（ゲストスピーカー：増山ゆかり）	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
10	飲酒関連死	酒類はアルコールを主成分とする嗜好品であるとともに、依存症を引き起こす薬物でもある。アルコール依存症は飲酒運転・家庭内暴力などの社会問題及び肝疾患・突然死などの健康被害をもたらす。飲酒と社会問題について考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
11	内因性急死	異状死体として法医学解剖される内因死について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
12	アメリカの法医学	銃・麻薬など、アメリカの社会問題の解説。日本とアメリカとの死因究明の違いについて。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
13	DNA鑑定	PCRの原理、DNA鑑定の実際、冤罪など（ゲストスピーカー：日本大学医学部社会医学系法医学分野上席研究員 千葉正悦）	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分
14	期末試験	期末試験	
	この回の到達目標	法医学の基礎知識と応用力を発揮する。	
	事前学修	これまでの講義内容を復習する。	30分
	事後学修	試験でわからなかった問いについて調べてみる。	90分
15	期末試験の解説	これまでの講義に対する質問、期末テストの解説など。オンデマンド補講にて実施。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	30分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	90分